

事務事業 No./名 称	■サービス部門 都整-44 □支援部門			維持管理費(雨水)			
主管課	浄化センター	関連課	下水道河川課・総合防災課				
分野名	下水道・河川						
目標 (目標値)	雨水排水施設の維持保全により、溢水から市民の生命・財産を守る						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度			
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人			
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 態	決算値(千円)	4,238	2,203	16,481			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	4,238	2,203	16,481			
	人員配置数	0.4	0.5	0.5			
	人件費(千円)	3,427	4,284	4,469			
	協働の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	7,665	6,487	20,950			
	市民1人当りの経費(円)	43	37	119			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進		実績値					

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

由事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	機器類の延命化を図っているが限界があり、更新・取替等が必要である。経常的予算範囲では機器更新などの大規模修繕対応は難しい。
課題解決のための取組	老朽化した機器の維持に努め、突発故障の防止を図った。
未解決の課題	抜本的な浸水被害の解消には、内水対策として雨水調整池・貯留槽の設置が必要であるが、用地選定や国庫補助の採択など問題がある。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	※□事業完了
					課長等名
					浄化センター所長
				A	原秀広

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
維持管理費	主な個別事業	538 雨水排水施設光熱水費 538 雨水排水施設維持修繕料(ポンプ場施設修繕) 538 雨水排水施設維持管理委託費(ポンプ機器点検等)	1,721 4,273 881	1,283 2,063 881	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	主な個別事業				<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	主な個別事業				<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	主な個別事業				<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
	主な個別事業				<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり